

# 障害者ときょうだい児

## ”きょうだい児”とは？

皆さんは、”きょうだい児”という言葉を知っていますか？きょうだい児とは「**重い病気**や**障害**を抱える兄弟姉妹の居る子どものこと（Wikipediaより引用）」をいいます。

## ”きょうだい児”へのケア

私たちはこれまで、発達障害や知的障害、そして複数の障害を持ち合わせている重複障害について学習してきました。そして、この重複障害児教育総論ではきょうだい児やその家族についてのビデオを見る機会がありました。

その中の一つに、重複障害のある妹・亜由未さんとそのお兄さんを巡るドキュメンタリーがありました。非常に多くのことを考えさせられるビデオでした。重複障害者ときょうだい児のいる家庭の一部を覗き見ました。しかし、全ての重複障害者ときょうだい児のいる家庭で同じような状況では決してありません。きょうだい児としての使命を背負って生まれてきた以上、苦しんで生きている方は私たちが思っている以上にこの世の中にたくさんいます。

障害者へのケアばかりを学習しているように思える私たちですが、”きょうだい児”へのケアについてきちんと考えたことはありますか？

## ”きょうだい児”の実態

日本のきょうだい児の実態について見ていきます。

図表 A-6 本人の立場（障害のある兄弟姉妹からみて）

	全体	兄	姉	弟	妹	不明
件数	424	85	162	66	102	9
%	100.0	20.0	38.2	15.6	24.1	2.1

出典：障害のある人のきょうだいへの調査報告書

図表 B-9 障害種別

	全体	知的障害	肢体不自由	聴覚障害	視覚障害	精神障害	発達障害	難病	わからない	その他	不明
件数	424	370	63	7	13	17	27	5	6	6	15
%	100	87.3	14.9	1.7	3.1	4.0	6.4	1.2	1.4	1.4	3.5

出典：障害のある人のきょうだいへの調査報告書

以上の図表から、姉・妹・兄・弟という順に、きょうだい児としての立場では多いようです。また、きょうだいの障害種では、知的障害が87.3パーセントと圧倒的に上位を占め、ついで肢体不自由という結果になっています。

きょうだい児本人の立場として、2番目に妹が多いということは、障害者の次に子どもを作ったということになり、そのことに対して「障害のあるきょうだいの面倒を見させるために自分を産んだのか」と不満を持っているきょうだい児がいることも明らかになってきました。

障害者がきょうだいにいることによる結婚への不安、両親が他界した後のきょうだいの面倒を自分が見なければいけないのか、そして幼少期からの親からの愛情不足、周りの目、いじめ…きょうだい児にとって、きょうだい児を持つことは決して良いことではなさそうだと、きょうだい児の声を聞いて感じました。

X（旧Twitter）できょうだい児と検索をかけると、きょうだい児へのケアを切実に求める声が多く見つかりました。障害者への支援やケアももちろん大切ではありますが、“きょうだい児”への支援・ケアについてもさまざまな研究、対策が行われるべきであると感じました。

出典・参考文献：<https://spaceshipearth.jp/siblings/>  
<https://president.jp/articles/-/56643>  
<https://kyoudaikai.com/wp-content/uploads/2021/11/アンケート.pdf>